



真宗大谷派（東本願寺） 天満別院

大字城

732号
2025
11/1

大阪市北区東天満1-8-26
06-6351-3535
代表者 輪番・奥林 曉

金色の毛皮

遠い昔のインドです。わがままな王がありました。ある日、王は不思議な夢を見ました。全身が金色の毛で覆われ、無数の毛先から金色の光が溢れていました。王は腕の良い獵師たちを集め、この金色の毛皮を探して来るよう命じました。成功すれば七代後まですべての親族の豊かな暮らしを保証する、失敗すれば皆殺しという非道なものでした。獵師たちは考えました。周囲の森は毒虫や悪獣が多く、金色の獣を見つける前に多くが死んでしまう。相談の上、一人の代表に任せることに決めました。選ばれた獵師は「これが自分の務め」と感じて受け入れました。

獵師は辛うじて最初の森を抜けると今度は熱砂の平原、猛烈な日差しにあり、熱中症で倒れました。「誰か私を助けてくれる者はいないか・・・」消えそうな声を聴きとらえた森の獣が急いで泉に走り、身を浸して獵師の身体を冷やし、獵師を背に乗せて泉へ運び、介抱し、果物を与えましました。獵師は漸く死の淵を超えて瞼を開き、助けてくれた相手を見て驚き、仰向けに寝かされていた身体をうつ伏せにして獣に合掌しました。背中が異様に震えているので獣は怪訝に思

い尋ねました。「私はクンタという者だ。何か大きな訳がありそうだ。話してごらん」獵師は激しくしゃくりあげながら言いました。「私は死んでも仕方ないのですが、そうすると王命により、国の獵師とその家族が見殺しになるのです。それを助けるのはただひとつ、あなたのその金色の毛皮なのです」獵師は命の恩人の毛皮を持ち帰らねばならないことに激しく嗚咽して息がつまりそうでした。クンタはやがて静かに語りました。「わかりました。私はこれまでに数えきれない生き死にを重ねてきました。その間ただ一度も他の為に命を終えたことがありません。今ここで初めてあなたとあなたの国の獵師たちの為に私の毛皮が役に立つことができます。さあ遠慮なく始めなさい」獵師が毛皮を剥ぐ時はいつもまず息の根を止めてからでした。しかしクンタは「毛皮だけを剥ぎなさい」と命じました。クンタの痛みを感じながらの作業は獵師にも同じように苦痛に満ちていました。

「私は毛皮によって多くの人々を救う。そして毛皮の下肉を蟻や蠅たちに施し、未来世に生きとし生けるものすべてを救いたい」雷のような大音響が、立ちすくむ獵師を励まし、金色の毛皮を国に持ち帰りました。

クンタはお釈迦さまの、わがままな王はダイヤモンドの前身です。

《出典『賢愚経巻』の第三 十五話》
鋸陀、身を施すの品

法要・行事予定

11月		12月	
4日	達如上人御祥月命日晨朝兼日中（7時45分）	5日	教如上人御命日晨朝兼日中（7時45分）
5日	教如上人御命日晨朝兼日中（7時45分）	12日	聞如上人御遠夜・永代経（14時）
12日	聞如上人御遠夜・永代経（14時）	13日	聞如上人御命日晨朝兼日中（7時45分）
13日	聞如上人御命日晨朝兼日中（7時45分）	20日	合唱団「みのり」（14時）
14日	茨木別院報恩講団体参拝（12時半出発）	26日	青年部会フィールドワーク（14時）
15日	合唱団「みのり」（14時）	27日	宗祖聖人御命日遠夜（14時）
24日	顯如上人御祥月命日晨朝兼日中（7時45分）	28日	宗祖聖人御命日晨朝兼日中（7時45分） 法話：輪番 同朋の会すす払い（9時）
26日	本山御正忌団体参拝（7時45分出発）	31日	歳末昏時勤行（15時）
27日	宗祖聖人御祥月命日遠夜（14時）	おあさじにお参りしましょう！！ 毎朝7：45分～8：30頃まで ※土、日は職員による感話があります。 一人でも多くのご参拝をと、願い続けています。	
28日	宗祖聖人御祥月命日晨朝（7時45分） 宗祖聖人御祥月命日日中（10時） 法話：輪番		



空調機 交換改修工事

去る10月6日（月）から、25年間使用してきた空調機の交換改修工事が株式会社三建設備工業の施工により10月18日（土）をもって無事完了いたしました。



クレーンによって運びこまれ
る新しい空調機

今月の伝道掲示板

しなくてはならない
のならやめなさい
やらずにおれない
のならやりなさい

— 安田理深 —

編集後記

過日、鑿のお稽古の最中、下部を強く打ってしまい、音が響かなくなっていました。そこには寄進くださった方のお名前が刻まれていました。私のせいという気持ち、もっと慎重に打つべきだったと後悔すると同時にそれ以来、仏具、石碑等に刻まれたお名前にしつかり目が留まるようになりました。先達のお陰で今がある。仏具の扱い、取組姿勢を見直すご縁をいただきました。（H）

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

（株）天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

地域のお客様の毎日に、
「おいしい」「ワクワク」「ハッピー」を
お届けするスーパーマーケット

ライフ東天満店

〒530-0004
大阪市北区東天満
1-8-14
TEL 06-6357-1100





講義後、班別座談の様子



存明寺 酒井 義一 師

青年部会 学習会開催
 去る9月29日(月)に天満別院教化委員会青年部会主催による学習会が開催されました。テーマは「グリーンケアに学ぶ」、ご講師には東京教区 存明寺住職 酒井義一師にお越しいただきました。
 講義を行った後に、班別の座談を行い、講義の内容を受けて自身の経験や感じたことを話し合いました。

ご報告

秋季彼岸会 勤修

去る9月21日(日)、秋季彼岸会並総永代経法要兼墓地納骨(物故者)追弔法要が勤修されました。講師には、21組 本通寺 北畠顯諒師をお迎えし、「踏み出せば状況は変わる」についてお話いただきました。

師は、「なぜ手を合わせるのか? それは『帰命尽十方無碍光如来』という仏様のはたらきです。私たちの身の周りには光は遮断すれば必ず届かない光です。しかし仏様の光は私のこの暗い心の底まで届いてくるので、ああそうだったなと手を合わせて生活がすることができる」とお話くださった。



21組 本通寺 北畠 顯諒 師



講堂に安置された御本尊

御本尊

おわたまし 御移徙

去る10月8日(水)に内陣塗り工事のため、御本尊に一階講堂へお移りいただきました。株式会社越前屋の施工のもと2026年3月15日(日)頃まで予定されております。それまでの期間、別院への参詣は一階講堂をお願いいたします。
 新しく綺麗になった内陣を前に本堂で一緒に勤められる日が来ることを職員一同楽しみにしております。

本山御正忌報恩講

11月21日(金)から28日(金)にかけて「御正忌報恩講」が執行されます。別院門徒会として団体参拝を計画しております。お日中参拝後、京都御所にほど近い「京都ガーデンパレス」にて昼食をいただき、その後200年ぶりに大規模改修工事を終えた岡崎別院に参拝いたします。
 是非ご参加くださいますよう合わせてご案内申し上げます。

日程 11月26日(水)

午前7時30分集合
 午前7時45分出発

集合 天満別院 一階講堂

参加費 1人6000円

※参加希望の方は11月15日(土)までに別院まで電話でご連絡ください。

(~2025年報恩講~) 報恩の為の故に、常に仏に近づくことを願う 『教行信証 信巻』



御参向 出仕(登高座)



講題「御絵伝」の絵解きに聞く

講師 戸次 公正 師



御俗姓 拝読



教区内輪番拝礼



御伝鈔 拝読 (下巻)



結願逮夜 出仕



報徳会 音楽法要

合唱団「みのり」